



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
 コード番号 7090 URL <https://ligua.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大浦 徹也 TEL 06 (7777) 0159
 定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,430	20.9	274	—	118	—	93	—	104	—
2023年3月期	2,837	△11.4	△258	—	△508	—	△527	—	△774	—

(注) 包括利益 2024年3月期 103百万円 (—%) 2023年3月期 △777百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	71.87	71.17	21.7	2.6	3.4
2023年3月期	△552.13	—	△103.4	△15.8	△17.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(注) 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

2. 2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,869	604	15.6	407.91
2023年3月期	3,373	353	10.5	251.71

(参考) 自己資本 2024年3月期 604百万円 2023年3月期 353百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2	10	137	1,300
2023年3月期	△328	△603	719	1,149

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,358	△2.1	132	12.3	120	28.1	89	△14.2	59.14

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は添付資料11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	1,510,600株	2023年3月期	1,418,800株
2024年3月期	28,668株	2023年3月期	15,689株
2024年3月期	1,448,342株	2023年3月期	1,402,686株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,535	25.5	80	—	85	—	100	—
2023年3月期	1,223	△30.5	△448	—	△457	—	△715	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	69.15	68.48
2023年3月期	△510.42	—

(注) 2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,742	493	18.0	332.60
2023年3月期	2,522	245	9.7	174.98

(参考) 自己資本 2024年3月期 492百万円 2023年3月期 245百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度は、ソフトウェアの「レセONEプラス」の販売数が減少したほか、機材・消耗品の販売台数が減少しました。一方で、営業の選択と集中により、健康サポートでIFMC技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「Mr. Supporter」の販売に注力した結果、販売数が大幅に増加しました。また、人件費の減少や広告宣伝費、減価償却費などのコスト削減により、売上原価や販売費及び一般管理費が減少しました。

その結果、営業利益及び経常利益、当期純利益ともに増加しました。これにより、前事業年度と当事業年度の実績値に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e tで同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動の正常化が進む中で、円安及び物価高による消費抑制が続いており、景気回復は足踏み状況にあります。

このような状況の中、当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーパスのもと「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生における2つの不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかね」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しており、誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会の実現を目指しております。

「からだ」を担うウェルネス事業では、接骨院を中心としたヘルスケア産業に対して経営・運営における様々な問題(売上減少、資金難、経営戦略不全、教育制度の未整備等)に対する経営ソリューションの提供を行ってまいりました。また、健康サポート分野では、IFMC.技術を用いた「Dr. Supporter」「My. Supporter」ブランド商品の販売及び他企業とのコラボレーションサービスの提供を行ってまいりました。

「おかね」を担うファイナンシャル事業では、保険代理店、金融商品仲介業(IFA)、財務コンサルティング等の経営支援を軸とするゴールベース・アプローチに基づいた総合金融コンサルティングサービスの提供を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は売上高3,430,416千円(前年同期比20.9%増)、営業利益118,330千円(前年同期は508,165千円の営業損失)、経常利益93,953千円(前年同期は527,247千円の経常損失)、当社の連結子会社が所有する顧客の一部を売却したことによる事業譲渡益30,000千円を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益104,085千円(前年同期は774,467千円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<ウェルネス事業>

ソフトウェアでは、接骨院向け患者情報管理システム「Ligoo POS & CRM」とレセプト計算システム「レセONE」の機能を併せ持った「レセONEプラス」の販売及び保守、連結子会社である日本ソフトウェア販売(株)のシステム販売等を行いました。「レセONEプラス」の新規販売数が前期に比べ減少した結果、売上高は408,882千円(前年同期比21.4%減)となりました。

機材・消耗品は、接骨院での自費施術メニューの拡大をサポートする為のツールである機材及び機材に付属する消耗品を販売しました。営業の選択と集中により、健康サポートの営業に注力したため、売上高は295,476千円(前年同期比10.2%減)となりました。

コンサルティングは、顧客の課題に合わせた年単位など一定の契約期間を基本とする継続型のコンサルティング及び新規利用者の獲得を目的としたWebコンサルティングを行いました。また、接骨院の幹部または幹部候補者向けの研修プログラム「GRAND SLAM」や経営者向けの「経営実践塾」等を展開しました。連結子会社である(株)ヒゴワが所有する顧客の一部を譲渡したことにより、売上高567,796千円(前年同期比10.0%減)となりました。

請求代行は、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開し、新規顧客開拓により会員数が増加しました。療養費早期支払サービスも利用者数や貸付残高が増加したことにより、売上高は376,445千円(前年同期比24.9%増)となりました。

健康サポートでは、IFMC.技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」の接骨院への販売が堅調に推移したこと等により、売上高は744,644千円(前年同期比189.3%増)となりました。

以上の結果、売上高2,393,244千円(前年同期比17.4%増)、営業利益140,763千円(前年同期は401,213千円の営業損失)となりました。

<ファイナンシャル事業>

保険代理店は、ウェルネス事業を展開する当社グループ及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の募集活動を行った結果、売上高は532,462千円(前年同期比11.8%増)となりました。

金融商品仲介業(IFA)は、ウクライナ情勢の長期化や欧米諸国の金融政策等によるマーケットの影響に加え、委託IFA数が減少しましたが、社内体制の強化且つ独自性のある安定的な収益モデルへ移行したことにより、売上高は375,119千円(前年同期比26.0%増)となりました。

その他は、一般事業会社の財務コンサルティング及びM&A仲介を受託したことにより、売上高は129,590千円(前年同期比432.9%増)となりました。

今後の成長に向けた人材への先行投資を行った結果、販売費及び一般管理費が大幅に増加しました。

以上の結果、売上高1,037,172千円(前年同期比29.9%増)、営業損失22,433千円(前年同期は106,951千円の営業損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

当連結会計年度末の資産合計は3,869,341千円となり、前連結会計年度末と比べ495,427千円の増加となりました。

流動資産は3,122,777千円となり、前連結会計年度末と比べ559,822千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が154,400千円、営業貸付金が206,293千円、商品が85,518千円、原材料が30,000千円増加したことによるものであります。

固定資産は746,564千円となり、前連結会計年度末と比べ64,394千円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産が29,863千円増加したものの、減価償却等により有形固定資産が22,049千円、ソフトウェアが93,715千円、のれんが19,770千円、顧客関連資産が7,600千円減少したことによるものであります。

②負債

当連結会計年度末における負債合計は3,264,441千円となり、前連結会計年度末と比べ243,862千円の増加となりました。

流動負債は2,478,593千円となり、前連結会計年度末と比べ526,815千円の増加となりました。これは主に、未払金が29,400千円、契約負債が34,221千円、預り金が33,292千円減少したものの、短期借入金が386,000千円、未払費用が66,384千円、未払消費税等が75,921千円増加したことによるものであります。

固定負債は785,847千円となり、前連結会計年度末と比べ282,953千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が283,170千円減少したことによるものであります。

③純資産

当連結会計年度末における純資産は604,900千円となり、前連結会計年度末と比べ251,565千円の増加となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株発行等による資本金及び資本剰余金をそれぞれ73,642千円、親会社株主に帰属する当期純利益を104,085千円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,300,691千円となり、前連結会計年度と比べ150,800千円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果、得られた資金は2,830千円（前連結会計年度は328,222千円の支出）となりました。これは主に、営業貸付金の増加額206,293千円、棚卸資産の増加額115,042千円があったものの、税金等調整前当期純利益124,579千円を計上したこと、減価償却費136,811千円、未払費用の増加額66,384千円等によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果、得られた資金は10,783千円（前連結会計年度は603,709千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8,016千円、無形固定資産の取得による支出14,562千円があったものの、事業譲渡による収入30,000千円、保険積立金の解約による収入4,706千円等によるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果、得られた資金は137,185千円（前連結会計年度は719,850千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出504,336千円があったものの、短期借入金の純増加額386,000千円、長期借入れによる収入250,000千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウェルネス事業においては、IFMC. 技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」の販売及びその他IFMC. 製品が堅調に推移していることから、引き続き販売に注力いたします。なお、2024年5月にソフトウェアの一部を譲渡したことにより、減価償却費やその他諸経費の削減に伴い、売上原価が圧縮できる予定となっております。

ファイナンシャル事業においては、保険代理店・金融商品仲介業にて引き続き安定収益確保に取り組むと共に、M&A仲介等の経営支援や財務コンサルティングを強化し、売上高及び利益の確保に努めてまいります。

以上のことから、2025年3月期の業績予想につきましては、売上高3,358百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益132百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益120百万円（前年同期比28.1%増）、親会社株式に帰属する当期純利益89百万円（前年同期比14.2%減）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,994	1,327,394
売掛金	261,496	315,608
営業貸付金	469,074	675,368
商品	236,489	322,008
原材料及び貯蔵品	1,174	30,698
リース債権及びリース投資資産	312,378	331,714
その他	110,000	122,631
貸倒引当金	△653	△2,646
流動資産合計	2,562,954	3,122,777
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	108,391	111,427
減価償却累計額	△33,860	△41,679
建物附属設備(純額)	74,531	69,747
車両運搬具	18,161	15,643
減価償却累計額	△17,815	△15,643
車両運搬具(純額)	345	0
工具、器具及び備品	133,200	137,317
減価償却累計額	△72,300	△92,522
工具、器具及び備品(純額)	60,900	44,795
建設仮勘定	4,072	3,258
有形固定資産合計	139,850	117,801
無形固定資産		
ソフトウェア	264,355	170,640
ソフトウェア仮勘定	28,800	36,970
顧客関連資産	10,133	2,533
のれん	143,420	123,650
その他	931	682
無形固定資産合計	447,641	334,476
投資その他の資産		
繰延税金資産	163,478	193,341
その他	63,393	104,189
貸倒引当金	△3,404	△3,244
投資その他の資産合計	223,467	294,286
固定資産合計	810,959	746,564
資産合計	3,373,914	3,869,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,575	48,831
短期借入金	714,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	498,472	527,306
未払金	152,843	123,442
未払費用	76,658	143,043
未払法人税等	11,666	48,890
未払消費税等	9,314	85,235
契約負債	62,739	28,518
預り金	360,601	327,308
賞与引当金	19,682	34,001
その他	8,223	12,014
流動負債合計	1,951,778	2,478,593
固定負債		
長期借入金	1,047,807	764,637
資産除去債務	20,993	21,088
繰延税金負債	—	121
固定負債合計	1,068,800	785,847
負債合計	3,020,579	3,264,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,522	551,164
資本剰余金	396,490	470,132
利益剰余金	△491,036	△386,951
自己株式	△29,802	△29,856
株主資本合計	353,173	604,489
新株予約権	—	411
非支配株主持分	161	—
純資産合計	353,335	604,900
負債純資産合計	3,373,914	3,869,341

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,837,667	3,430,416
売上原価	1,613,006	1,551,041
売上総利益	1,224,661	1,879,375
販売費及び一般管理費	1,732,826	1,761,045
営業利益又は営業損失(△)	△508,165	118,330
営業外収益		
受取利息	10	75
保険解約返戻金	—	1,589
受取賃貸料	307	—
受取賠償金	—	17,606
助成金収入	1,666	—
受取手数料	1,181	—
その他	379	469
営業外収益合計	3,544	19,740
営業外費用		
支払利息	16,525	21,092
株式報酬費用消滅損	5,768	22,767
その他	333	257
営業外費用合計	22,627	44,117
経常利益又は経常損失(△)	△527,247	93,953
特別利益		
固定資産売却益	37	640
事業譲渡益	—	30,000
特別利益合計	37	30,640
特別損失		
固定資産除却損	2,474	—
固定資産売却損	132	14
減損損失	356,364	—
その他	26	—
特別損失合計	358,998	14
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△886,208	124,579
法人税、住民税及び事業税	20,753	50,396
法人税等調整額	△129,655	△29,741
法人税等合計	△108,902	20,655
当期純利益又は当期純損失(△)	△777,306	103,924
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△2,838	△161
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△774,467	104,085

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△777,306	103,924
包括利益	△777,306	103,924
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△774,467	104,085
非支配株主に係る包括利益	△2,838	△161

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	476,397	395,364	284,022	△11,111	1,144,672	—	1,144,672
当期変動額							
新株の発行	1,125	1,125			2,251		2,251
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△774,467		△774,467		△774,467
自己株式の取得				△39,491	△39,491		△39,491
自己株式の処分			△591	20,799	20,208		20,208
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						161	161
当期変動額合計	1,125	1,125	△775,059	△18,691	△791,498	161	△791,337
当期末残高	477,522	396,490	△491,036	△29,802	353,173	161	353,335

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	477,522	396,490	△491,036	△29,802	353,173	—	161	353,335
当期変動額								
新株の発行	73,642	73,642			147,284			147,284
親会社株主に帰属する当期純利益			104,085		104,085			104,085
自己株式の取得				△54	△54			△54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						411	△161	249
当期変動額合計	73,642	73,642	104,085	△54	251,315	411	△161	251,565
当期末残高	551,164	470,132	△386,951	△29,856	604,489	411	—	604,900

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△886,208	124,579
減価償却費	227,083	136,811
のれん償却額	22,524	19,770
貸倒引当金の増減額(△は減少)	676	1,833
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,105	14,319
受取利息及び受取配当金	△16	△76
支払利息	16,760	21,092
受取賠償金	—	△17,606
保険解約戻金	—	△1,589
事業譲渡損益(△は益)	—	△30,000
固定資産除却損	2,474	—
減損損失	356,364	—
売上債権の増減額(△は増加)	34,067	△54,192
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△161,371	△19,336
営業貸付金の増減額(△は増加)	△21,327	△206,293
棚卸資産の増減額(△は増加)	△21,161	△115,042
仕入債務の増減額(△は減少)	9,968	11,256
前払費用の増減額(△は増加)	△14,570	6,794
未払金の増減額(△は減少)	25,831	△29,249
未払費用の増減額(△は減少)	4,153	66,384
契約負債の増減額(△は減少)	53,221	△34,221
預り金の増減額(△は減少)	85,025	△33,292
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,372	75,857
その他	20,579	75,195
小計	△276,191	12,994
利息及び配当金の受取額	16	75
利息の支払額	△17,033	△21,399
賠償金の受取額	—	17,606
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△35,014	△6,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	△328,222	2,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,820	△3,040
有形固定資産の取得による支出	△56,719	△8,016
無形固定資産の取得による支出	△82,725	△14,562
敷金及び保証金の差入による支出	△19,369	△563
事業譲渡による収入	—	30,000
吸収分割による支出	△447,746	—
保険積立金の解約による収入	—	4,706
その他	7,671	2,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△603,709	10,783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	714,000	386,000
長期借入れによる収入	600,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△559,910	△504,336
株式の発行による収入	2,251	5,156
自己株式の取得による支出	△39,491	△54
新株予約権の発行による収入	—	420
非支配株主からの払込みによる収入	3,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	719,850	137,185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△212,081	150,800
現金及び現金同等物の期首残高	1,361,973	1,149,891
現金及び現金同等物の期末残高	1,149,891	1,300,691

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、各社が取り扱っている主な製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ウェルネス事業」及び「ファイナンシャル事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル 事業	計	
売上高				
ソフトウェア	447,527	—	447,527	447,527
機材・消耗品	192,524	—	192,524	192,524
コンサルティング	631,059	—	631,059	631,059
請求代行	301,460	—	301,460	301,460
健康サポート	257,400	—	257,400	257,400
保険代理店	—	476,214	476,214	476,214
金融商品仲介業(IFA)	—	297,778	297,778	297,778
その他	—	24,318	24,318	24,318
顧客との契約から生じる収益	1,829,973	798,312	2,628,286	2,628,286
その他の収益 (注) 1	209,381	—	209,381	209,381
外部顧客への売上高	2,039,355	798,312	2,837,667	2,837,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,039,355	798,312	2,837,667	2,837,667
セグメント損失(△)	△401,213	△106,951	△508,165	△508,165
セグメント資産	3,203,461	170,452	3,373,914	3,373,914
その他の項目				
減価償却費	222,449	4,633	227,083	227,083
のれんの償却額	22,524	—	22,524	22,524
減損損失	356,364	—	356,364	356,364
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	97,744	33,185	130,929	130,929

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注)2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル 事業	計	
売上高				
ソフトウェア	378,577	—	378,577	378,577
機材・消耗品	221,861	—	221,861	221,861
コンサルティング	567,796	—	567,796	567,796
請求代行	376,445	—	376,445	376,445
健康サポート	744,644	—	744,644	744,644
保険代理店	—	532,462	532,462	532,462
金融商品仲介業(IFA)	—	375,119	375,119	375,119
その他	—	129,590	129,590	129,590
顧客との契約から生じる収益	2,289,325	1,037,172	3,326,497	3,326,497
その他の収益 (注)1	103,919	—	103,919	103,919
外部顧客への売上高	2,393,244	1,037,172	3,430,416	3,430,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,393,244	1,037,172	3,430,416	3,430,416
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	140,763	△22,433	118,330	118,330
セグメント資産	3,587,644	281,697	3,869,341	3,869,341
その他の項目				
減価償却費	130,896	5,914	136,811	136,811
のれんの償却額	19,770	—	19,770	19,770
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	20,030	2,397	22,427	22,427

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	251.71円	407.91円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△552.13円	71.87円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	71.17円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△774,467	104,085
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	△774,467	104,085
普通株式の期中平均株式数(株)	1,402,686	1,448,342
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	16,599	14,100
(うち新株予約権(株))	(16,599)	(14,100)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 (新株予約権の数 19個) (普通株式数 1,900株)	第4回新株予約権 (新株予約権の数 15個) (普通株式数 1,500株) 第5回新株予約権 (新株予約権の数 2,055個) (普通株式数 205,500株)

(重要な後発事象)

(事業及び固定資産の譲渡)

当社は、2024年4月16日開催の臨時取締役会において、2024年5月1日をもって、当社のソフトウェア事業及びソフトウェア資産の一部を株式会社スマレジに譲渡することを決議し、同日付で事業譲渡契約を締結し、2024年5月1日付で事業譲渡いたしました。

1. 事業譲渡の理由

当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーパスのもと「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生の2つの大きな不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかね」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しております。当社グループのウェルネス事業において、接骨院の運営に必要なシステムとして、2009年に接骨院向け患者情報管理システム「Ligoo POS&CRM（以下「CRM」）」、2019年にレセプト計算システム「レセONE」、2020年には上記2つのシステムが一体となった「レセONEプラス」をリリースし、2023年12月時点の導入数はCRM1,718院、レセONE1,305院となっております。

これまで「システム開発」「保守・機能改善」「システム販売」「運営サポート」のすべてを当社で行ってまいりましたが、最新の開発技術や今後の開発環境の変化に適応するためには、優れた開発力を持つ企業に「システム開発」「保守・機能改善」を担っていただき、当社自身は当社の強みである「システム販売」「運営サポート」に集中することが必要と考えました。

本件の譲渡先である株式会社スマレジは、優れたシステム開発力で43,000店舗以上に高機能クラウドPOSレジを展開する成長企業であり、同社が「システム開発」「保守・機能改善」を担当することで、既存顧客の満足度を高め、競合他社との圧倒的な差別化が図れるシステムに進化させることができると考え、本件譲渡を決定いたしました。

2. 本件事業譲渡の内容

(1) 対象事業及び固定資産の内容

- ・接骨院向け患者情報管理システム「Ligoo POS&CRM」
- ・接骨院向けレセプト計算システム「レセONE」

※上記2つの機能を併せ持つシステムを「レセONEプラス」として提供

(2) 対象事業の経営成績

	2023年3月期	2024年3月期
売上高	398百万円	233百万円
売上総利益	45百万円	87百万円

※対象事業の経常利益は算出していないため記載しておりません。

(3) 対象事業及び譲渡資産の資産・負債の項目及び金額

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
固定資産	163百万円	—	—

(4) 譲渡価額、譲渡益及び決済方法

譲渡価額 176百万円

譲渡益 12百万円

決済方法 現金決済

当該事業譲渡に伴い事業譲渡益12百万円を、2025年3月期第1四半期連結会計期間において特別利益として計上する予定であります。

(5) 相手先の概要

(1) 名称	株式会社スマレジ	
(2) 所在地	大阪府中央区本町四丁目2番12号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 山本 博士	
(4) 事業内容	ウェブサービスの企画・設計・デザイン・開発・提供 スマレジ事業、データ収集・分析事業、通信販売事業	
(5) 資本金	1,150百万円	
(6) 設立年月日	2005年5月24日	
(7) 純資産	4,681百万円	
(8) 総資産	6,156百万円	
(9) 大株主及び持株比率	株式会社山本博士事務所 17.19% 徳田誠 16.22% 株式会社徳田 10.44% 株式会社MOCCI 6.32% 株式会社MINATO 6.06% PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP. (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店) 5.93% 株式会社日本カストディ銀行(信託口) 4.75% 山本 博士 4.54% 三菱UFJキャピタル5号投資事業有限責任組合 3.07% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 2.61%	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	当社社外取締役の村田雅幸氏は、(株)スマレジの社外監査役を兼務しております
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への 該当状況	当社社外取締役の村田雅幸氏は、(株)スマレジの社外監査役を兼務しているため、関連当事者に該当いたします

(6) 日程

(1) 取締役会決議日及び譲渡契約締結日	2024年4月16日
(2) 事業譲渡日	2024年5月1日